

さいたま市の食育取組状況

令和元年度

(2019年4月～2020年3月)

さいたま市食育推進協議会

1 食育関係団体（さいたま市食育推進協議会委員）の食育取組状況

- ・ 人間総合科学大学
- ・ 埼玉県栄養士会
- ・ さいたま市食生活改善推進員協議会
- ・ さいたま市地域活動栄養士会 バランス食の会
- ・ 日本チェーンストア協会 関東支部
- ・ さいたま市私立保育園協会 食育部

さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		5つの「食べる」											実績 2019年4月～2020年3月(令和元年度)		成果									
		三食 しっかり	目 的	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもつて	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題												
人間総合科学大学サークル“ベジカル”	野菜の植え付け・収穫体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象: 大学生約30人	実施日:6～11月 場所:人間総合科学大学 園場 内容:土づくり、植え付け、水やり、収穫	大学内の園場の土壌にあった肥料を配合し、土づくりをし、さつまいも、吉川ねぎ、なす、ピーマンを植え付けした。ピーマンとナスは学生が協力して管理していたため、品質のよい野菜を収穫することができた。	学生が通学しない期間に水やりなど管理をすることが大変であった。	昨年より大学敷地内の園場を確保し、効率良い運営方法を考えながら農作業を進める。
人間総合科学大学	さいたまヘルスケア産業創出委員会:埼玉健康プロジェクト88「食の適塩生活」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:各店舗で注文していただいた方 約100人	実施日:2～3月 場所:さいたま市内の飲食店4店舗 内容:人間総合科学大学の学生が提案した適塩メニューを各店舗に協力してもらい販売した	ナトリウムについてより多くの方に興味を持っていただくことになった。適塩の食事が健康増進の一助となった。	今年度はコロナウイルスの影響で学生自身が販売体験することができず、購入者の意見を直接聞く機会がなかったことが課題である。	各店舗の印象もよく、今後も継続して取り組みをしていきたい。
人間総合科学大学	高校生の食事	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:高校生 約30人	実施日:9月 場所:伊奈学園 内容:高校の「栄養」の授業内で講義を実施した。家庭科の教科書の記載内容に運動しながら新しい情報を取り入れ、1日3回規則正しい食事の重要性を強調した。	過去に対象高校の食生活調査をしており、その結果を紹介することで、より一層興味をもって聞いてもらった。	もっと多くの高校生に食生活について興味をもってもらいたいため、対象高校を増やしたいと考えている。	対象高校を募集し、内容は同様に進めていく予定である。
埼玉県栄養士会	健口教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象: 参加者:502人	実施日:2日×2クール 場所:さいたま市全10区 内容:介護予防に向けての取り組み(さいたま市の要請により調整)	介護予防のために栄養や食事について考える機会を持ってもらう。	・2日間の日程では両日参加できない方もいらした。 ・マンパワーの確保	
埼玉県栄養士会	市民健康栄養講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象: 参加者:110人	実施日:毎月第一水曜日(除く5月、8月、1月) 場所:さいたま市(埼玉県栄養士会研修室) 内容:各回別にテーマあり フレイル予防、認知症を予防する食生活、熱中症予防、災害に備えて、若さを保つ食生活、動脈硬化が気になる方へ、血糖が気になる方へ、がんを予防するしく生活 他	ロコミなどで毎月の参加者は微増。コミュニティサロンとしての役割も果たしている。	・開催日程や場所の周知	
埼玉県栄養士会	栄養の日イベント	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象: 参加者:32人	実施日:8月3日 場所:さいたま市(埼玉県栄養士会研修室) 内容:腸内環境についての講話、握力測定、骨密度測定、栄養相談、エプロンシアター 他	全国的なイベントとして2回目 栄養、食事、健康について考えてもらえる機会を作った。	来場者を待たせることなく、誘導できるような会場設置とプログラムの構成	
埼玉県栄養士会	栄養の日イベント	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象: 参加者:140人超	実施日:8月3日 場所:マルエツキッチンイーとびあ(見沼区2店舗、岩槻区、幸手市、志木市) 内容:試食、栄養アドバイス 他	一般の人にも栄養の日があることを知っていただく機会ができた。	共同事業としての役割分担をどのようのしていくか	

さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	目 標	5つの「食べる」 いっしょに楽しむ			確かな目 をもち	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)	成果	課題										
埼玉県 栄養士会	米粉教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:親子参加 参加者: 子 60人 保護者39人	実施日:11～12月 場所:草加市、新座市、寄居町、鴻巣氏 内容:親子で米粉の特性を知ってもらい、米粉を使った調理実習を行う。	親子のコミュニケーションの一つとして楽しみながら学ぶことができた。	実施日の周知 開催場所の確保 開催までの準備にかかる費用とマンパワー	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
埼玉県 栄養士会	米まつり	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象: 参加者:230人	実施日:11月16,17日 場所:草加まつりばら綾瀬川公園(草加市) 内容:食生活相談、骨密度測定 他	骨密度の測定は毎回盛況	マンパワーの確保	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
埼玉県 栄養士会	おにぎり教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:親子 参加者: 子 66人 保護者 37人 保育士 10人	実施日:10～12月 場所:さいたま市緑区、吉川市、長瀬町、富士見市 内容:お米のできるまで、ごはんを食べることについて関心を持ってもらう	県産米について関心を持ってもらい、県産米への理解もえられたと思われる。	保護者との参加で、家庭でも実施してもらえるかどうか。	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
さいたま市 食生活改善 推進員協議会	総会 記念講演	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:会員 実施回数:1回 参加者数:299人	実施日:2019年5月9日 場所:さいたま市民会館うらわ 内容:総会、記念講演「今、なぜ食改か?～健康長寿をめざし、地域性に合わせた活動が求められている～講師 女子栄養大学 教授 田中 久子 先生	地域の現状に合わせた活動が求められている。塩分摂取、野菜摂取、脂質等、食生活の実情の数値を示した後、計画、実行、評価、改善の現状を把握し、グループ活動・地域活動で実践し、健康長寿をさいたまを目指す社会員に伝える事が出来た。	地域現状を知り健全な食生活を伝えられる為に行政と協働し食育に取り組んで行きたい。	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
さいたま市 食生活改善 推進員協議会	合同研修会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:会員 実施回数:3回 参加者数:270人	実施日:①2019年7月2日 ②10月9日 ③2020年1月9日 場所:①③さいたま市保健所 ②岩槻区役所保健センター 内容:①始めよう我が家の防災対策 ②生活習慣病予防 ③アレルギーについて	地震、防災、浸水防災対策として各家庭で必要最小限の非常用持出しを準備と早めの避難が基本について学べた。 生活習慣病予防には食物繊維は健康への関わりが深い不足。十二分に摂取を心がける。 女子栄養大学臨床管理研究室 恩田 理恵氏 講義アレルギーであっても日常の食事、給食で不足しがちな栄養の摂り方を知った。	色々な状況によって、求められている多様な食生活に対応できるよう取り組んで行きたい。	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
さいたま市 食生活改善 推進員協議会	リーダー研 修会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:会員 実施回数:13回 参加者数:428人	実施日:浦和支部(4/15、6/20、9/2、11/19、12/3、2/20 ※3/2は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、大宮支部(5/7、9/4、12/9、2/5)、岩槻支部(4/17、7/10、2/5) 場所:各区役所保健センター(浦和区2、桜区1、南区2、緑区1、西区1、北区1、見沼区1、岩槻区3) 内容:親子食育、食事バランスの活用について、高齢者の食事、行事食、脂質異常症予防について、高血圧予防の減塩料理、献立作成についての講義と調理実習	地区、グループ伝達のための幼児から高齢者に向けての研修会、意見交換、最新の情報を交えつつ皆前向きに取り組んでいる。	浦和支部参加増員の対策は、実施地区に限り増員となり要望に応えられた。今後も可能なかぎり対策等を進めたい。	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
さいたま市 食生活改善 推進員協議会	グループ伝 達講習会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:会員 実施回数:311回 参加者数:4.815人	実施日:浦和支部23グループ4/17他219回、大宮支部13グループ4/11他74回、中央支部2グループ4/11他17回、岩槻支部1グループ4/17他7回 ※一部、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 場所:各支部公民館(浦和支部21、大宮支部13、中央支部2、岩槻支部1) 内容:10区リーダー研修会、支部リーダー研修会で学んだ講義、調理実習を正しく解りやすく伝える。	10区リーダー研修会、リーダー研修会での講義、調理実習を伝え、明確に理解してもらえた。 食育の目標「いっしょに楽しく食べるが今年のテーマ。朝食、朝食はさげ、家族や仲間と食事を共にする「共食」の機会を意識して増やす事が大切と伝えた。	高齢者、単身者、子育て世代へ共食の大切さを啓発して行きたい。	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など							
		三食 しっかり	バランス	目標			まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)		成果	課題										
				5つの「食べる」 いっしょに楽しく	確かな目 をもって	感謝・あ いさつ					資源・環 境	食事食・郷 土料理			実施日、場所、内容	実施回数								
さいたま市 食生活改善 推進員協議 会	支部活動	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あ いさつ	資源・環 境	農林漁業	行事食・郷 土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:会員 実施回数:4回 参加者数:117人	実施日:2019年①4月17日 ②6月13日 2020年③2月10日 ④2月21日 場所:①岩槻区役所保健センター ②③豊洲市場 ④浦和区役所保健センター 内容:①支部総会 ②③施設見学 ④味噌づくり教室	豊洲市場視察し食に関わる物流(水産物、青果他)を見聞きし多くの人の手を経て生産者から消費者までの過程が理解出来た。食べ物や環境を大切に再確認した。	食品ロスの削減、ゴミの減量、リサイクルなど、環境に対応した食生活の取り組み方の創意工夫。	
さいたま市 食生活改善 推進員協議 会	グループ活動	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あ いさつ	資源・環 境	農林漁業	行事食・郷 土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民 実施回数:48回 参加者数:7,049人	実施日:浦和支部12グループ 6/6他33回、大宮支部4グループ 7/10他10回、岩槻支部1グループ4/6他2回 場所:各支部公民館、大宮西小学校、宮前小学校 内容:夏休み子どもクッキング、楽しく作ろう体によさしいおやつ、親子食育教室、男性のための健康料理教室、おしるこでハッピーニューイヤー、桜まつり甘酒作り、公民館文化祭、高齢者ふれあい会食、すくすく教室 他。地域の多世代に向け講話と調理実習、行事食の提供	地域の要望に対応し乳幼児から高齢者まで多種多様な食育事業に取り組めた。	地域のあらゆる世代に寄り添い、食育活動推進に努めたい。	
さいたま市 食生活改善 推進員協議 会	保健センター事業への協力①	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あ いさつ	資源・環 境	農林漁業	行事食・郷 土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:3～6歳児(未就学児)とその保護者 実施回数:5回 参加者数:118人	実施日:2019年7月25日、7月30日、7月31日、8月23日、8月28日 場所:各区保健センター(大宮区、浦和区、中央区、桜区、見沼区) 内容:親子食育講座「野菜バクバク元気教室」楽しいエプロンシアター(野菜の話)、調理実習	エプロンシアターでは、子供達の目はキラキラと真剣に、時には応援したり野菜への興味を示し、調理は野菜の型抜き、野菜のシャカシャカサラダ作りに取り組み、知る喜び、作る楽しさを体験し、更に食への関心を持ってもらえた。	保健センター事業に積極的に協力したい。	
さいたま市 食生活改善 推進員協議 会	保健センター事業への協力②	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あ いさつ	資源・環 境	農林漁業	行事食・郷 土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:小学生とその保護者、ステラタウン来場者、のびのび子育て来場者、健康まつり来場者 実施回数:8回 参加者数:1,882人	実施日:2019年6月22日、6月29日、9月27日、10月5日、19日、11月3日、2020年1月25日、2月7日 場所:各区保健センター(大宮区、西区2回、北区)、ステラタウン2階キッズスクエア2回、農業トレーニングセンター、浦和コミュニティセンター 内容:親子でござろうごはん(野菜編、お米編)、親子クッキング、健康クイズラリー、のびのび子育て食育クイズ、浦和区健康まつり	保健センターの様々な事業に協力することで多世代の参加者に、世代別の食の情報発信し食生活を見直す機会であったり、健康への意識を深めてもらえた。又、地域の農業、地域の食材に親しんで地産地消の大切さを伝えられた。	今後も保健センターの様々な事業に更に協力できるよう前向きに学んで行きたい。	
さいたま市 食生活改善 推進員協議 会	委託事業①(一財)日本食生活協会委託事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あ いさつ	資源・環 境	農林漁業	行事食・郷 土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:成人男女 実施回数:2回 参加者数:34人	実施日:2019年11月7日、11月26日 場所:大宮南公民館、西浦和公民館 内容:やさしい在宅介護食教室 講話と調理実習	誰もが介護受ける人、介護する人も共に高齢化その中の事業。講話は地元地域包括センターに依頼し話を担当高齢者の現状についてのテーマ。食は大切、口腔ケア、低栄養に注意し1日3食バランス良く食べる事が基本に介護食(嚥下食向け)を作り試食してもらい、現在母を看ているので参考にしたい、今後の勉強になったと多数の感想を聞くことが出来た。	高齢者は老化によって体の働きが衰え低栄養になりがち。高齢者の食事バランスガイドを活用し低栄養予防のバランス食を伝えて行きたい。	
さいたま市 食生活改善 推進員協議 会	委託事業②埼玉県委託事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あ いさつ	資源・環 境	農林漁業	行事食・郷 土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:区内成人男女 実施回数:1回 参加者数:25人	実施日:2019年12月4日 場所:岩槻区本町公民館 内容:埼玉県産米利用推進事業 講話と調理実習	岩槻産「彩のきずな」を利用し主食(米)、副菜(米粉)、汁物(米味噌)、デザート(米粉)と米製品を活かしたメニュー、野菜たっぷり(6種230g)で身近な食材を使い、参加者の手際の良いもあり短時間で料理が並ぶ時短料理を伝え作って食べる大切さを伝えることが出来た。早速1、2品作ってみますと感想でした。	今後も地域の方々へ健康な食事づくりを伝え、「近くがうまい埼玉」地域で生産された農産物を地域で消費する、地産地消の取り組みをして行きたい。	
さいたま市 食生活改善 推進員協議 会	委託事業食育推進事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あ いさつ	資源・環 境	農林漁業	行事食・郷 土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民 実施回数:20回 参加者数:341人	実施日:2019年7/17、8/6、9/19、10/8、15、17、11/7(2回)、8、16(2回)、25、27、30、12/2、7、18、2020年1/16、29、30 場所:各地区、岩槻区本町公民館 他18公民館 大宮ふれあい福祉センター 内容:生活習慣病予防14件、親子料理教室3件、ロコモ予防楽しく元気に歳を重ねる食卓1件、手軽にアレンジ！とり分け幼児食1件、健康づくり教室1件 講話と調理実習	「いっしょに楽しく食べる」をテーマに家族や仲間と一緒に料理や食事をする共食の機会を増やすことが健全で充実した食生活に通じ、生活習慣病予防になりますと多くの参加者に伝えることが出来た。	多世代の参加に応えられる事が出来るように前向きに学び努力していきたい。条件が整えば県やさいたま市の出前講座を利用したい。	

さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		5つの「食べる」										実績 2019年4月～2020年3月(令和元年度)		成果										
		三食 しっかり	目 的	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもち	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題												
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	料理教室 (ひまわり)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:女性 年 10回 各回 12人 計 120人	実施日:毎月第一水曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市浦和区 岸町公民館 内容:料理教室・栄養講座	バランスの取れた食事のアドバイスを長年行ってきたので、家庭での有効利用が上手になりました。新しく参加する方も増えてきており、供食の楽しさも充実しました。	郷土料理や地産の利用を進めていくつもりです。	
協働 ○	(継続)	—	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	—	—	—	—	○					
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	料理教室 (食生活講習会) 木曜クラス	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:女性 年 10回 各回 10人 計 100人	実施日:毎月第二木曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市浦和区 浦和ふれあい館 内容:料理教室・栄養講座	家庭での少人数化が進み、食材の有効利用、保存等を考えた献立にして家庭で役立ててもらった。	作り置き惣菜、昨日の余り物のアレンジの仕方や一人暮らしの人の簡単食事作りのヒントにも力を入れてゆきたい。	
協働 ○	(継続)	—	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	—	—	—	—	○					
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	料理教室 (食生活講習会) 金曜クラス	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:女性 年 10回 各回 10人 計 100人	実施日:毎月第二金曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市浦和区 浦和ふれあい館 内容:料理教室・栄養講座	旬の物、地産の物への関心が高く、ワンランク上の食材・料理に挑戦し、ていねいに調理ができています。	実施日以外にも食べ歩きや特別に時間を作って調理を望んでいるので相談しながら行って行きたい。	
協働 ○	(継続)	—	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	—	—	—	—	○					
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	料理教室 (男の手料理)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:男性 年 10回 各回 8人 計 80人	実施日:毎月第三水曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市中央区 上落合公民館 内容:料理教室・栄養講座	料理の基本も良く理解し、旬の物、由来等質問も多く、若い人も参加するようになってきた。	希望のメニューにそって献立作りをしているが、又作りたい、もっと作りたいを大事にして行きたいと思っている。	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○	○					
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	料理教室 (らくらくクッキング)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:女性 年 10回 各回 15人 計 150人	実施日:毎月第四水曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市中央区 上落合公民館 内容:料理教室・栄養講座	配食サービスに携わっている方や料理が得意な方が多く参加者同士での情報交換にもなり話題も豊富	旬の物、目新しいもの、新しい食材等を使い栄養に関する知識と共に喜ばれる献立を作って行きたい。	
協働 ○	(継続)	—	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	—	—	—	—	○					
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	彩の国生 きがい大学 栄養講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:彩の国生 きがい大学受講 者(男女) 年 1回 計 75人	実施日:6月20日 場所:伊奈町 埼玉県民活動センター 内容:栄養講座	「若さを保つ食生活」のテーマに講義をした。関心が高く質問も多くあった。	講義だけでなく簡単な体操を組み込んでストレッチも行った。次回も取り入れて行きたい。	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○					
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	彩の国生 きがい大学 調理実習	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:彩の国生 きがい大学受講 者 年 4回 各回 20人 計 80人	実施日:6月27日・7月4日・9月26日・10月3日 場所:伊奈町 埼玉県民活動センター 内容:料理教室・栄養講座	バランスのとれた食事作りと衛生面での注意、食材の下ごしらえからおかずまで参加者が協力して上手にできました。何回か参加されている人もおり楽しみにしている。	地産地消に関心が高く、旬をたいせつに献立を作って行きたい。	
協働 ○	(継続)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○					







さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など							
		三食 しっかり	食生活	バランス	共食	目標 いっしょ に楽しく	5つの「食べる」				食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)	成果		課題						
							食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ								資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	実施日、場所、内容	成果	課題
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	埼玉県米消 費推進連絡 協議会 助成事業 (米粉)	朝食	食生活	バランス	共食	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:親子 年1回 計16人	実施日:8月21日 場所:さいたま市中央区 上落合公民館 内容:米粉を使った料理教室	米粉を使ったピザ・ホワイトシチュー・デザートを親子で楽しく作りました。こどもは生地をこねたり、トッピングをしたり料理に参加出来るのが嬉しかったようです。	又実施してほしいといわれました。食育にとっても良い機会だと思いました。又企画したいと考えております。	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	埼玉県米消 費推進連絡 協議会 助成事業 (米)	朝食	食生活	バランス	共食	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:保育園児と 保育士 年1回 計 人	実施日:10月3日 場所:さいたま市緑区 きらり遊愛保育園 内容:おにぎり教室(自分でお弁当作り)	おにぎりを3種類園児にこぎってもらい、こちらで用意したおかずと共に自分のお弁当箱につめてもらいました。お米の話、親への感謝、栄養の本の読み聞かせも同時におこないました。	自分で作り、お弁当箱に詰めて物は、普段は嫌いで食べない物も残さずに食べました。今度はお母さんのお手伝いをするとおっしゃっていました。子供でも手伝える献立も考えたいと思います。	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	日本即席食 品工業協会 (インスタント ラーメン)	朝食	食生活	バランス	共食	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:男女 年1回 計24人	実施日:1月22日 場所:さいたま市中央区 上落合公民館 内容:インスタントラーメンを使った料理教室(アレンジ料理)	普段ラーメンにひと手間加えてバランスのとれた一品になり喜ばれました。備蓄での利用が多くあり食べてない人が多かったのですが野菜たっぷりのあんかけ、具沢山の塩ラーメンで喜ばれました。	普段、備蓄している食材も上手につかえば立派な食事になります。簡単な利用法を広めてゆきたいです	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
(株)マルエツ (日本チェーンストア協会 関東支部)	栄養の日	朝食	食生活	バランス	共食	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象: マルエツ店舗来 店のお客様 150人	実施日:2019年8月4日(日) 場所:マルエツ 大宮大和田店 内容:栄養の日 キッチンイーとびあでのメニュー提案・試食提供 栄養士による栄養相談 メニュー:8・4お好み焼き・キウイヨーグルト	昨年の反省を活かし、今年の栄養の日に向け、毎月「栄養の日」をアピールするメニュー提案を、POPでのPR実施してきた。その為、今年はお客様の理解度は上がり、メニュー名にも8.4(ハチヨン)と入れた事で関心度も増したと思う。	栄養士会との連携の強化 キッチンイーとびあスタッフのより栄養を意識した提案レベル向上	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
(株)マルエツ (日本チェーンストア協会 関東支部)	栄養の日	朝食	食生活	バランス	共食	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象: マルエツ店舗来 店のお客様 150人	実施日:2019年8月4日(日) 場所:マルエツ 岩槻駅前店 内容:栄養の日 キッチンイーとびあでのメニュー提案・試食提供 栄養士による栄養相談 メニュー:8・4お好み焼き・キウイヨーグルト	昨年の反省を活かし、今年の栄養の日に向け、毎月「栄養の日」をアピールするメニュー提案を、POPでのPR実施してきた。その為、今年はお客様の理解度は上がり、メニュー名にも8.4(ハチヨン)と入れた事で関心度も増したと思う。	栄養士会との連携の強化 キッチンイーとびあスタッフのより栄養を意識した提案レベル向上	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
(株)マルエツ (日本チェーンストア協会 関東支部)	栄養の日	朝食	食生活	バランス	共食	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象: マルエツ店舗来 店のお客様 190人	実施日:2019年8月4日(日) 場所:マルエツ 西大宮駅前店 内容:栄養の日 キッチンイーとびあでのメニュー提案・試食提供 栄養士による栄養相談 メニュー:8・4お好み焼き・キウイヨーグルト	昨年の反省を活かし、今年の栄養の日に向け、毎月「栄養の日」をアピールするメニュー提案を、POPでのPR実施してきた。その為、今年はお客様の理解度は上がり、メニュー名にも8.4(ハチヨン)と入れた事で関心度も増したと思う。	栄養士会との連携の強化 キッチンイーとびあスタッフのより栄養を意識した提案レベル向上	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
さいたま市 私立保育園 協会 食育 部	調理講習会	朝食	食生活	バランス	共食	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:私立認可 保育所給食従事 者 ①49人 ②33人	実施日:①9月18日(水) ②令和2年1月30日(木) 場所:国際学院埼玉短期大学調理実習室 内容:①「離乳食について」保育園での離乳食調理の基礎から展開まで学び、調理を行った。 ②「卵調理の特性を知る」をテーマに、卵の調理科学を学び、美味しく調理するための知識と調理実習を行った。	①初期から完了食までのレシピを知り、今後の献立作成、調理の参考になった。 ②現場の方がすぐに実践に活かせる内容となった。いつも何気なく調理していた食材を知ること、今後さらにおいしい調理を提供する自信へとつながった。	・今回学ばれた事が、実際の献立に参考とされたのか。 ・子育て中の方へにアドバイス等へ活かすことができたのか。	
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				







2 さいたま市食育関係部局の食育取組状況

- ・健康増進課
- ・食品・医薬品安全課
- ・地域保健支援課
- ・子育て支援政策課
- ・青少年育成課
- ・保育課
- ・環境創造政策課
- ・資源循環政策課
- ・農業政策課
- ・10区保健センター協力事業、保健センター共通事業
- ・各区保健センター
- ・健康教育課（教育委員会）
- ・生涯学習振興課（教育委員会）
- ・生涯学習総合センター（公民館の食育取組状況はP26～38）（教育委員会）
- ・防災課
- ・高齢福祉課


さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	目録 いっしょ に楽しく	5つの「食べる」			食文化や 地物の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)	成果	課題												
		朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題	
健康増進課	さいたま市食育ナビ(食育全般の推進)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 市民	実施日: 通年 場所: ウェブサイト http://www.saitamacity-shokukui.jp/ 内容: 食育の基礎知識、学校や保育園の給食レシピ、食品ロス削減、地産地消、市の食に関するイベント、食育取組事例などの情報を発信した。	アクセス数が増加した 平成29年度 88,001件 ↓ 平成30年度 91,803件 ↓ 令和元年度 120,150件	サイトのさらなる周知に努め、より多くの市民に食に関する情報を届ける。 また、繰り返しアクセスしていただくためには、掲載内容を充実させる必要がある。	
健康増進課	食育を実践しようプロジェクト(食育全般の推進)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 人間総合科学大学の学生 29人	実施日: 2019年8月20日、12月26日、2020年2月19日 場所: 人間総合科学大学 蓮田キャンパス 内容: 第3次さいたま市食育推進計画に基づき、食育活動の企画・実践を行う人材を育成し、ライフステージの各段階に応じた食育の普及啓発を図った。 学生は、幼児期(1～2歳児と保護者対象の食育)、学齢期(放課後児童クラブでの食育)、青年期(大学新入生対象の食育)の食育活動を企画した。	各グループで、対象とするライフステージに応じた食育活動を企画できた。 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実践は中止。) 学生自身が学ぶ機会にもなった。	学生の欠席が多いため、実施方法の変更を検討する。	
健康増進課	5つの「食べる」の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 市民	実施日: 食育月間(6月)、食育の日(毎月19日)等 通年 場所: 市内 内容: 年度重点目標「いっしょに楽しく食べる」と、小学生が描いた絵をデザインしたポスターを作成し、保育施設、教育機関、公共施設等へ配布した。 また、食育ナビ、市WEBサイト、市報、民間の会報誌等に食育に関する啓発記事を掲載した。	小・中学生が食育推進に関するポスターを描くことは、望ましい食生活について考える機会となっている。 民間の会報誌等にも啓発記事を掲載し、食に関する課題の多い若い世代・働き盛り世代にアプローチできた。	啓発だけでなく、市民の行動変容につながるよう、外食・中食等の事業者と連携した取組を検討する必要がある。	
健康増進課	毎年10月は朝ごはんを食べよう強化月間(重点プロジェクトの推進)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 市民	実施日: 10月 場所: 市内 内容: 朝食摂取を啓発するリーフレットを作成。公立保育園(61園)の全児童の保護者へ配布したほか、保育施設、教育機関、公共施設等へ配布した。 また、食育ナビ、市WEBサイト、市報、スマートウエルネスさいたまNEWS等に朝食摂取に関する啓発記事を掲載した。	リーフレットの配布を公立保育園に協力いただいたり、啓発記事をスマートウエルネスさいたまNEWSに掲載したりすることで、朝食欠食の多い若い世代・働き盛り世代にアプローチできた。	啓発だけでなく、市民の行動変容につながるよう、外食・中食等の事業者と連携した取組を検討する必要がある。	
健康増進課	各ライフステージにおける食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 市民	実施日: 通年 場所: 市内 内容: 健康増進課の上記の各取組で、ライフステージに応じた食育の普及啓発に取り組んだ。 「さいたま市食育ナビ」を改訂した。 「さいたま市食育ナビ」に掲載し、食育ナビの活用を推進した。	保育課、保健センターに協力いただき、「さいたま市食育ナビ」を改訂した。 「さいたま市食育ナビ」に掲載し、食育ナビの活用を推進した。	高齢者を対象とした食育について、関係課と連携した取組を検討する必要がある。	
食品・医薬品安全課	食の安全・安心市民講習会の開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 市内在住、 在勤、在学中で 18歳以上の方 17人 回数: 7回	実施日: ①2019年5月22日(水)、②6月19日(水)、③7月23日(月)、④10月1日(火)、⑤11月20日(水)、⑥2020年1月29日(木)、⑦3月5日(木)(中止) 場所: ①②③④⑤市保健所、⑥イオンモール与野、⑦コープデリ商品検査センター 内容: ①食品のリスクについて、市の食の安全確保対策について、②保健所食品衛生課の業務について、食中毒予防と衛生管理について、手洗い実習、③農薬の安全確保のための正しい農薬の知識、市の食品等検査業務について、④食品添加物について、食肉の安全確保対策について、⑤食品表示法について、⑥⑦施設見学	7回中4回以上出席した14名に対し、修了証を交付した。 なお、7回目は全員出席した。今年度は継続して受講した参加者が多かった。	今後も継続して出席してもらえるような工夫が必要。	
食品・医薬品安全課	食の安全市民ネットワーク会議の開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: ネットワーク 推進員(食の安全・ 安心市民講習会の 修了者) ①25人 ②13人 ③- 回数: 3回	実施日: ①2019年5月10日(金)、②11月7日(木)、③2020年3月16日(月)(中止) 場所: ①市保健所、②東京都中央卸売市場、③都内会議室 内容: ①推進員の活動について、活動報告、意見交換会、②施設見学、③薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食中毒部会の傍聴	推進員から、スーパーの衛生管理、焼き肉の安全な食べ方等について活動報告や質問があり、意見交換を行った。 施設見学では、広大な敷地の大田市場に圧倒された。 職員の方の説明も上手で、楽しく勉強できたようだった。	出席率を向上できるように検討が必要。 推進員の活動報告に対してその都度行政からコメントをする時間を作れるよう検討が必要。	

さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan							Do										Check		取組の様子など			
		三食 しっかり	目録 いっしょ に楽しむ	5つの「食べる」 確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)	成果	課題													
食品・医薬 品安全課	食の安全 フォーラムの 開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市内在住、 在勤、在学中の方 ①54人 ②- 回数:2回	実施日:①2019年10月29日(火)、②2020年3月4日(水) (中止) 場所:①プラザノース、②さいたま新都心合同庁舎1号館 内容:①活用していますか?食品の表示、②健康食品の表示・広告の取締りについて	食品表示について、新しい制度を勉強したり、普段から気になっていたことを質問できていた。	入場者数を増やすための広報活動の拡大。興味をもってもらえるテーマ選び。	
食品・医薬 品安全課	夏の食中毒 予防対策強 化期間の実 施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民	実施日:6月～8月(①2019年8月8日(木)、②7月1日(水)付 け、③6月24日(月)～7月5日(金)) 場所:①コロンシテイ 内容:①街頭キャンペーンで啓発品(800組)配布、②市内小 中学校へのリーフレット(76,005枚)及びポスター(1,455枚)配 布、③食肉等の処理・販売・提供等を行う施設(122施設)及び 高齢者、若齢者等の抵抗力の弱い者を対象とした食事を提供 する施設(施設)の監視指導、④市報さいたま6月号及び7月 号への記事掲載	ファミリー層を中心として啓発活動を行うことができた。夏休みの自由研究のテーマにするという小学生もいた。	より多くの市民に啓発するために、街頭キャンペーンを行う場所や、リーフレットやポスターのデザインをより目を引くものに変更することを検討する必要がある。	
食品・医薬 品安全課	冬の食の安全 注意報事 業の実施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民、関係 職員	実施日:11月(①2019年11月26日(火)、②11月5日 (火)、③④11月28日(木)付け) 場所:①JR浦和駅、②職員研修センター 内容:①街頭キャンペーンで啓発品(800組)配布、②ノ ロウイルス対策研修会、③社会福祉施設等を所管する 関係課所へリーフレット(4,307枚)の配布依頼、④大量 調理施設(208施設)へのリーフレット配布、⑤市報さい たま11月号への記事掲載	ノロウイルス対策研修会は、今年も多くの保育士に参加してもらった。	今後も市民や各施設に興味を持ってもらえるようなリーフレットを選んでいく。ノロウイルス対策研修会では、よく出る質問集を作成したい。	
食品・医薬 品安全課	食の安全委 員会、食の 安全対策会 議の開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	【食の安全委員会】 参加者 委員を委嘱さ れた方 人数 13人 回数 4回 【食の安全対策会議】 参加者 庁内関係課 所長 人数 10人 回数 3回	【食の安全委員会】 実施日:2019年8月6日(火)、11月13日(水)、12月19日(木)、2020年3 月11日(水) 場所:市保健所、キュービータマゴ産能工場、書面開催 内容:食の安全確保対策事業について、食の安全基本方針アクション プランについて、食品衛生監視指導計画について、施設見学 【食の安全対策会議】 実施日:2019年7月16日(火)、12月6日(金)、2020年2月21日(金) 場所:市保健所、メール開催 内容:食の安全確保対策事業について、食の安全基本方針アクション プランについて、食品衛生監視指導計画について	市民の食の安全確保に向けて、食の安全に関する情報共有や意見交換を行い、食の安全基本方針アクションプランや食品衛生監視指導計画に反映した。	今後も国の動向を注視しながら、活発な意見交換を行い、反映していく。	
食品・医薬 品安全課	食の安全基 本方針ア クション プラン、食 品衛生 監視指 導計 画の策定	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民	内容:次年度のアクションプラン及び計画について、食の安全委員会や食の安全対策会議及び関係課内会議で出た意見を反映し、案を作成を行った。	市民の食の安全確保に向けて、食の安全委員会や食の安全対策会議及び関係課内会議で出た意見を反映し、案を作成し、ホームページにて意見募集を行った。	今後も国の動向を注視しながら、策定に向け進めていく。	
食品・医薬 品安全課	ホームペ ージ、食育 及びSNS を利用した 市民への 情報提 供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民	実施日:随時 内容:食の安全フォーラムや食中毒予防街頭キャン ペーン等のお知らせや、食品衛生監視指導計画に基づ く監視状況等を掲載した。	遅滞なく掲載できた。	今後も継続して情報を掲載していく。閲覧数を増加させる方法を検討する必要がある。	
地域保健支 援課	健康づくり協 力店普及及 促進事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:健康づくり 協力店指定店舗 63店舗	実施日:通年 場所:さいたま市内 内容:新規指定、指定店舗巡回、状況確認アンケート、市ウェブサイトによる情報発信等	・指定店舗が4店舗増加(新規指定5店舗、休業1店舗したことで、市民に健康情報を発信する機会が増えた。 ・市ウェブサイトを通して本事業を広く周知したことで、指定店舗数を増やす必要があった。	・指定店舗がバランスメニューの提供や健康情報の発信を適切に実施できるよう支援する必要がある。 ・市民の健康づくりのための食環境を整備するため、指定店舗数を増やす必要がある。	


さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	目 的	5つの「食べる」 いっしょに楽しく 確かな目 をもって			まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)	成果	課題											
子育て支援 政策課	食育に関する 情報の配布、掲示の 協力	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	のびのびルーム 利用者	実施日:不定期 場所:各のびのびルーム 内容:食育に関する情報の配布、掲示	離乳食や幼児向けの食育に 関する冊子やチラシの配布、 ポスター等の掲示の依頼が あった際に、0～2歳児までの 親子が利用する「単独型子 育て支援センター」や「のび のびルーム」で配布・掲示協 力した。	放課後児童クラブの空き時 間を開放するという事業の性 質上、ポスター等の掲示につ いては難しい場合がある。	
協働	(継続)	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—				
子育て支援 政策課	単独型子育て 支援センターでの食育に 関する事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	単独型子育て支援 センター利用者	実施日:不定期 場所:各子育て支援センター 内容:離乳食講習会、おもほり、野菜掘り、手作りみ そ講座、朝ご飯のお話など各支援センターで内容を決定し実施	・単独型子育て支援センター 10か所すべてで、育児相談 (食事・栄養に関する相談を 含む)を実施した。 ・食育に関する絵本・パンフ レット・レシピ集・パネルを展 示・掲示・配布した。 ・食への関心を高める体験を する機会を設けることができた。	畑を持つなど、それぞれの支 援センターの特徴を生かした 講座やイベントを引き続き実 施する。	
協働	(継続)	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—				
青少年育成 課	さるはなキャン プフェスタ・親子のつ どい	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市内小学 生とその保護者	実施日:2019年10月20日(日) 場所:猿花キャンプ場(見沼区南中野) 内容:野外炊飯、レクリエーション	班ごとに親子一緒にご飯を つくり、一緒に食べることに の楽しさを知ってもらうことが できた。また、火おこしや飯ご うなどのキャンプ場ならではの 食事づくりを体験してもらう ことができた。	参加者が定員に満たなかつ た。周知方法や、開催内容を 検討する必要がある。	
協働	○ (継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—				
青少年育成 課	三橋児童セ ンター「幼児食とお やつ」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:幼児食期の 幼児とその保護者	実施日:2019年10月3日(木) 場 所:三橋児童センター 内容:幼児食期の食事やおやつについての講話 講師:大宮区保健センター栄養士	事前に保護者から質問事項 を聞き取り、栄養士の方に講 話の中で答えていただいた。 講話中は子どもに目を配りな がらも熱心に聞いていた。講 話終了後も個別に相談する 保護者が多く、食に関する関 心の高さが伺えた。	20組の募集だったが、当日 栄養士の方から部屋の広さを 考えると15組程度が望まし いとのことだったため、検 討したい。	
協働	○ (継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—				
青少年育成 課	植竹児童セ ンター「栄養士による 離乳食講話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:乳児、保護 者	実施日:2019年7月3日(水) 場所:植竹児童センター 体育室 内容:北区保健センターの栄養士を講師とし、離乳食に ついてのお話、参加者からの質問への回答を行う。	管理栄養士による講話を熱 心に保護者が聞いてくださっ ていた。保健センターに多く 寄せられる栄養相談の紹介 等を通して、参加者が情報を 得る貴重な機会となった。	保健センターと連携をとりな がら、さらに多くの方に参加 していただけるようPRも行っ ていきたい。	
協働	○ (継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—				
青少年育成 課	天沼児童セ ンター「管理栄養 士講話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:乳幼児とそ の保護者	実施日:2019年6月20日(木) 場所:天沼児童センター体育室 内容:大宮区保健センター管理栄養士による離乳食講 話	皆さん熱心に講話を聞いて いて、積極的に質問もされて いた。離乳食というテーマを もとに、保護者同士の情報交 換の機会ともなった。	参加者の満足度は高いが、 参加者数が少なかった。	乳児用玩具を用意し、お子さんを遊ばせなが ら、保護者の方が講話を聞くことができるよう にした。
協働	○ (継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
青少年育成 課	天沼児童セ ンター「やさいも パーティー」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:地域住民 実施回数:1回 乳幼児73人、児童 25人、中学生2人、 高校生1人、保護者 70人、高齢者15 人、ボランティア4人	実施日:2019年12月7日(土) 場所:天沼児童センター 庭 内容:地域の方々の交流の場となるよう、みんなで一緒 にやさいもを作って食べる。	NPO法人ハンズオン! 埼玉 「おとうさんのヤキイモタイ ム」キャンペーンに応募して 実施した。地域住民やボラン ティアの方々等のご理解・ 協力のもと、楽しい雰囲気 の中、安全に行うことができた。 参加者からも「おいしかった」 等好評だった。	安全かつなるべく早く焼ける ような焼き方の工夫が必要。 また、臭いについての広報も 行う必要がある。	チラシを施設近隣へポスティングしたことで、 多くの方にご参加いただいた。当日は、参加 者もやさいもづくりをするという参加型にした ことで、一体感のある、自然な交流が生まれ ていた。
協働	○ (継続)	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				








さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	目録 いっしょ に楽しく	5つの「食べる」 確かな目 をもって			まごころ に感謝		食文化や 地の物		対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)	成果	課題									
青少年育成 課	天沼児童セ ンター 「みんなで クッキング」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:小学生 実施回数:各1回 (計2回) ①5人②中止	実施日:①2019年12月21日(土)②中止(2020年3月28日(土)) 場所:天沼児童センター 集会室 内容:①サンドイッチとフルーツポンチづくり②中止(フルーツ白玉づくり)	調理をしたことがない児童もいた。他児と協力して楽しみながら、調理の経験をしてもらうことができた。「おいしかった」「楽しかった」といった感想が聞かれ、全員おかわりしていた。	アレルギーの有無についてはしっかり確認していたが、好き嫌いについては意識していなかった。	テーブルを2台用意し、各テーブル児童3名職員1名で行った。
青少年育成 課	天沼児童セ ンター 「非常食を食 べてみよう」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:地域住民 実施回数:1回 高齢者9人	実施日:2019年8月19日(月) 場所:天沼児童センター 集会室 内容:非常食を実際に食べてみる。会食の機会とする。	「楽しかった」「また声を掛けてほしい」といった感想が聞かれ、会食の機会としては好評だった。	児童の参加がなかった。次年度は、児童の参加につながるような実施方法等を検討していくこととし、事業終了とする。また、「非常事態に備えて」という事業の意味合いは、高齢の方には伝わりにくかった様子。	非常食をご家庭に備えておくこと等伝えた。1人暮らしの方もいらっしゃるの、会食としては盛り上がりがあった。
青少年育成 課	宮原児童セ ンター 「おにぎらず とスープ」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:小学2年生 以上の児童 実施回数:1回 参加者数:15人	実施日:2019年8月1日(金) 場所:宮原公民館 内容:調理実習(喫茶店オーナーによる調理のアドバイス)	料理の過程を一人ずつ体験することができたため、参加者からも楽しい「家でも作りたい」と好評だった。	講師との日程調整を早めに行う。	
青少年育成 課	宮原児童セ ンター 「栄養士さん による食育 講話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:乳幼児とその 保護者 実施回数:1回 参加人数:乳幼 児11人保護者1 1人	実施日:2019年9月19日(木) 場所:宮原児童センター 内容:北区保健センター栄養士による乳幼児の食育についての講話	参加者の離乳食等に関する疑問や不安を解消することに繋がった。	お子さんと同室のため、講話に集中できない保護者がいる。	
青少年育成 課	植水児童セ ンター・植水 地区社協共 催 「すくすく教 室」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:小学生 実施回数:1回 参加人数:19人	実施日:2019年8月8日(木) 場所:植水公民館 調理実習室 内容:西区保健センター管理栄養士及び食生活改善推進員による栄養講話・手洗い指導・調理実習(みんなの顔のラップごはん・野菜のかきたまスープ・牛乳かん)	参加者からは、「自分で作ったから初めて食べる物も苦手なものも食べてみようと思った」「みんなと協力して作ることができた」「工夫をすることがわかった」「また家で作りたい」等の声があり、好評だった。	参加者が定員に満たなかった上、半数近くがリピーターだった。より多くの人に周知できるように、チラシの内容や配布時期等を工夫していきたい。(応募者多数の場合は抽選にて参加者を決定)	
青少年育成 課	【本郷児童セ ンター】じゃ がいもほり	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:幼児・小学生 とその保護者、高 齢者 幼児29人、小学 生30人、保護者4 3人、高齢者7人	実施日:2019年6月22日(土) 場所:地域の畑 内容:地域の自治会長の畑にて地域とのコミュニケーションを図りつつ、地域で栽培されている野菜を知る機会を設け、食べ物への愛着を持っていただくことを目的とし、親子や世代交流をしながら、土に触れ楽しくじゃがいもの収穫を行う。	この事業を楽しみにしている利用者が多く、今年度もたくさんの参加があり、世代を超えた地域の交流ができた。また、土に触れる機会が少ない幼児や児童にとって、畑の柔らかい土からたくさんじゃがいもを掘り、自然の中でじゃがいもの収穫ができた満足で帰る姿であった。「自分で収穫したじゃがいもは格別においしかった」と感想もいただき、収穫の楽しさや食べ物を大切に食べることの経験につながった。		
青少年育成 課	【本郷児童セ ンター】乳幼 児向け食育 講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:乳幼児とその 保護者 (乳児10人保護 者11人)	実施日:2019年9月11日(水) 場所:本郷児童センター 内容:北区保健センターの栄養士を講師に招いて、離乳食などの「食」に関する基本的な事項についての講座を開き、栄養士からの指導をおして食生活の大切さについて理解を深めていただく。	離乳食をきちんと知りたいことや家庭で離乳食の悩みを抱え参加してくださった。参加者の意欲的な姿勢がみえ、栄養士に離乳食に関する質問も多く挙がり、専門的な話を聞く機会となった。アドバイスや指導を受け、参加された保護者の悩みや不安も和らぎ有意義な講座となった。		





さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	目標 いっしょ に楽しく	5つの「食べる」 確かな目 をもって			まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)		成果	課題						
青少年育成課	【片柳児童センター】 ティーンズ クッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:中学生 参加人数:1人	実施日:2019年8月21日(金) 場所:片柳児童センター 内容:参加生徒で内容を決め、クッキングを通じて交流を図る。	中学生が主体的にメニューや内容を決めて、食材買い出し、調理と取り組んだ。	参加者が少なかったため、広報と募集方法を工夫したい。	
青少年育成課	【片柳児童センター】クッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:小学生 定員:各10人 参加人数: 4月20日9人、 4月21日9人、 5月18日8人、 6月15日4人、 6月21日8人、 10月19日10人、 11月16日2人、 12月21日9人、 1月18日6人、 2月15日10人	実施日:2019年4月20日(土)4月21日(日) 5月18日(土)6月15日(土) 9月21日(土)10月19日(土) 11月16日(土)12月21日(土) 2020年1月18日(土)2月15日(土) 場所:片柳児童センター 内容:デコレーション、お豆腐アメリカンドッグ、お好み焼き、おかずパンケーキ、スイーツbuffet	基本的に2回連続、同内容のメニューを設定することにより、多くの児童に体験の機会を提供できる。平日は利用しない児童も利用するよききっかけとなっている。	事前の体調をよく確認したうえで、参加してもらうことも必要である。	
青少年育成課	【春野児童センター】子ども公民館	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:小学生・保護者 参加人数: ①小学生8人、 保護者7人 ②小学生8人	実施日:①2019年7月13日(土) ②2018年12月7日(土) 中止③2019年3月7日(土) 場所:春野公民館 内容:①手打ちうどん ②おたのしみピザ 中止③メロメロンパン	公民館共催のため、調理室を使用し、コンロやオーブンを使った調理を行うことができた。自分で作ったものを、みんなでたのしく食べる良い機会となった。	献立の検討と広報	
青少年育成課	【春野児童センター】おかしなパーティー	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:小学生 参加人数: ①15人と保護者 1人②1人③15人と保護者1人	実施日:①2019年6月22日(土)②2019年12月27日(土)③2020年2月8日(土) 場所:春野児童センター 内容:①べっこうあめ、②おにぎりパーティー、③かんたんティラミス	かんたんクッキングをすることで食を楽しむことを目的とした。災害備蓄品の材料を使い実施したものもあり、簡単に自分で作っておいしく食べる経験してもらえた。	定員に達さなかったものもあり、献立の検討と、広報の方法について工夫したい。	 2/8 かんたんティラミス
青少年育成課	【馬宮児童センター】離乳食講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:乳児とその保護者 参加人数: 乳児11人 保護者11人	実施日:2019年10月28日(月) 場所:馬宮児童センター 内容:西区保健センターの管理栄養士による離乳食についての講話や個別相談	事前に参加予定者から集めた離乳食についての疑問に回答をもらいながら、離乳食の進め方や栄養のバランスについての話を聞き、知識を深める事ができた。	参加人数の維持をするために広報活動を工夫する事。	
青少年育成課	【馬宮児童センター】野菜を育てて収穫しよう	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:小学生(児童クラブ) 参加人数:35人	実施日:2019年5月～7月 場所:馬宮児童センター 内容:プランターでトマトの栽培、収穫	成長する野菜を見たり、収穫物を持ち帰ったりしながら、世話をする楽しさや喜びを味わっていた。	気候や苗、土の性質により成長が変わるため、職員がこまめにみておく必要がある。	
青少年育成課	【文蔵児童センター】食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象:乳幼児親子 参加人数: ①幼児34人、保護者32人 ②幼児12人、保護者12人	実施日:①2019年9月5日(木)②2020年1月23日(木) 場所:文蔵児童センター 内容:①幼児期の食について理解を深める。南区保健センターの栄養士による食育講座と食に関する相談役を行う。また個別相談も行う。	栄養士による食育講座として実施。前半は、栄養士講話。後半は、少人数に分かれてのフリートークとした。月齢が近いこともあり、同じような悩みを共有したり、我が子の実践例を他の保護者に伝えたりする姿が見られた。	保護者同士が自分の悩みや心配事を気軽に話せる場が必要。	







さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	目 標	5つの「食べる」 いっしょに楽しく 確かな目 をもって			まごころ 食文化や 地の物		対象ライフステージ		対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)	成果	課題										
青少年育成課	【岩槻児童センター】わくわくクッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:小学生 ※8月4日のみ小学生親子 参加人数:①13人②18人(小学生9人、保護者9人)③16人④16人	実施日:①2019年6月30日(日) ②2019年8月4日(日) ③2019年12月22日(日) ④2020年2月9日(日) 場所:コミュニティセンターいわつき 内容:楽しく簡単に出来るクッキング	毎回定員になり、定着してきている。目で見えて楽しめる、みんなで楽しく作っておいしく食べることを毎回目標に実施。リピーターも多い。	参加者の声も取入れながら実施していきたい	
青少年育成課	【岩槻児童センター】土曜クッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:小学生 参加人数: ①17人②17人③20人④25人⑤12人⑥15人⑦17人⑧25人	実施日:①2019年4月13日②6月1日③7月6日④7月23日⑤2020年1月4日⑥1月7日⑦1月11日⑧2月8日 場所:岩槻児童センター 内容:火を使わない簡単クッキング	自宅でも簡単にできるクッキングを実施。家でもやってみたという声もある。	みんなが楽しめる内容をこれからも考えていきたい。	
青少年育成課	【岩槻児童センター】こどもかふえ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:小学生 参加人数: ①9人②3人③19人④13人⑤24人⑥13人⑦13人⑧18人⑨16人⑩19人	①2019年4月27日(土)②5月25日(土)③6月29日(土) ④7月27日(土)⑤8月24日(土)⑥9月21日(土) ⑦10月26日(土)⑧11月16日(土)⑨12月21日(土) ⑩2020年1月25日(土) 場所:岩槻児童センター 内容:手作り軽食の提供	昨年同様、参加者は多くないが、楽しみに来ている小学生もいる。地道に続けていきたい。	孤食や思うように食べられていない子どもにも来てもらいたいが、現在の児童センターとしてはそこまで踏み込むのが難しい。実施の時間帯は夕方16:00～に変更した。	
青少年育成課	【岩槻児童センター】デイキャンプ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象: 幼児・小学生親子と中学生 参加人数: 幼児7人、小学生2人、保護者9人	実施日:2019年11月3日(日) 場所:猿花キャンプ場 内容:カレーとやきいも作り	中学生の参加はなかったが、父親と子どもで参加がほとんど。みな楽しかったという意見をいただいた。	親子で楽しく自然の中で、簡単にできる調理も挑戦したい。	
青少年育成課	【岩槻児童センター】中高生クッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:中高生 参加人数: ①1人②5人③10人④10人⑤12人⑥12人	実施日: ①2019年4月27日(土)②6月10日(金) ③7月27日(土)④8月24日(土)⑤2020年1月10日(金) ⑥1月25日(土) 場所:岩槻児童センター 内容:簡単クッキング	準備から片付けまで責任をもって行ってもらった。	中学生から発信される声を形にしていき、一緒に児童センターを盛り上げていきたい。	
青少年育成課	【仲本児童センター】仲本ファーム プチトマト栽培	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:利用者全般	実施日:2019年5月～7月 場所:仲本児童センター・仲本荘玄関前 内容:プランターで栽培したプチトマトの成長を見守り、収穫する。	野菜が育つ過程を日々観察し、収穫した。玄関前で栽培したため、多くの利用者が成長過程を見ることができた。乳幼児親子・児童が収穫し、「美味しい」「食べていいの?」と興味を持つことができた。	観察や収穫だけでなく、苗を植えて育てる過程も体験できると良い。	
青少年育成課	【仲本児童センター】食育あそび	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	2回実施 ①対象:1歳以上の未就園児親子 参加者:幼児20人、保護者18人 ②対象:未就学児親子 参加者:幼児15人、保護者14人うち父4人	実施日: ①2019年6月6日(木)、②2019年6月8日(土) 場所:仲本児童センター 内容:お弁当づくり(工作)、食べ物に関する読み聞かせ	おいしい食事をバランスよく食べることや、料理を作る楽しさを親子であそびを通じて疑似体験した。食育工作は、お料理ごっことして楽しめ、完成品もとても好評だった。父の参加もあった。	より多くの親子が参加できるよう周知方法を工夫したい。	

さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	バランス	共食	行儀作法	5つの「食べる」 いっしょに楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)	成果	課題										
青少年育成課	【尾間木児童センター】 食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:1歳児とその保護者 参加人数:幼児18人、保護者17人	日程:2019年10月16日 場所:尾間木児童センター 内容:食育についての講話、質問コーナーと個別相談	食事の味付けやおやつ、歯についての講話。 参加の保護者全員から質問があり、食育についての関心の高さを感じた。	利用者の関心が高い事業であることから、事前に利用者から質問を伺っておくなど、さらに多くの利用者に対応していけるよう考えたい。	
青少年育成課	【尾間木児童センター】 食育のおはなし	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:乳幼児とその保護者 実施回数:6回 参加人数:幼児44人、保護者34人	実施日:2019年5月16日(木)、7月18日(木)、9月19日(木)、11月21日(木)、1月16日(木)、1月23日(木) 場所:尾間木児童センター 内容:食育のはなし	日本調剤㈱と協働し、栄養士による講話、相談を行った。「野菜嫌いについて」「体調が悪い時の食事」など、参加者からの声を参考に毎回テーマを決めて講話をしていただいた。日常の不安を解消する場となった。	より興味を持っていただけるよう、季節に合わせたテーマなどを提案していきたい。	
保育課	保育園での食育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:公立保育園に通う児童、その保護者 実施回数:110事例	場所:各公立保育園 内容:公立保育園が食育年間計画を作成し、保育士等が実施した食育が61事例。保育課栄養士が公立保育園に出向いて実施した食育が49事例(園児向けの食育が39事例、保護者向けの食育が10事例)。	各園で作成した食育年間計画を基に、子どもの月齢や発達に応じた食育を実践することができた。また、保護者向けに給食の人気レシピを配布したり、懇談会前の時間を活用して保育課栄養士による食育を行ったりすることで、家庭の食に対する興味関心を高めることができた。	園児向けの食育に比べて、保護者向けの食育の機会が少ないため、検討が必要。	 食育イベント「野菜を切ってみよう」の様子
保育課	食だよりの発行	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:公立保育園の保護者、食育ナビの閲覧者 実施回数:年5回発行	場所:公立保育園へ通う児童の保護者へ配布、食育ナビ上へ掲載 内容:季節ごとの食に関する情報発信、栄養・食育・衛生・食物アレルギーについての情報発信等	保育課栄養士より、公立保育園の保護者へ食に関する様々な情報を発信することができた。また、食育ナビへ掲載することでより広く発信することが期待できる。	保育課栄養士が主導となり発信する内容を決めているが、保育園や保護者の知りたい内容を発信できるとよい。	令和元年度に発行した食だよりの内容 ・春号:公立保育園の給食、食育、旬の食材と行事食の紹介 ・臨時号:食中毒予防、手洗いの仕方について ・夏号:家庭でできる脱水症予防、夏におすすめのレシピの紹介 ・秋号:朝ごはんの働き ・冬号:さいたま市の食育目標
保育課	公立保育園併設型子育て支援センター(4園)および子育て談話室での食育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:公立保育園併設型支援センター、公立保育園子育て談話室の利用者 実施回数:6事例	場所:公立保育園併設型支援センター(日進保育園、大砂土保育園、与野本町保育園、西町保育園)、公立保育園子育て談話室(大谷場保育園) 内容:乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等	公立保育園の給食を媒体として、食に関する情報を発信することができた。1回あたりの参加人数がそれほど多くないため、1人1人の栄養相談の時間をしっかりと設けることができた。また、参加できなかった方にも当日の資料を配布したり、参加者からの質問内容を共有することで情報を発信することができた。	1回に参加できる人数に限りがあり、もれなく参加してもらうために実施回数の検討が必要。	
保育課	食育ナビにて保育施設における食育活動の発信	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市内の保育施設、食育ナビの閲覧者 実施回数:3事例	場所:食育ナビ上へ掲載 内容:市内の保育施設で行っている食育の取組、食物アレルギー研修の紹介	食育ナビで発信することにより、保護者を始めとして、園で行っている食育活動の発信ができた。	今後も継続して発信していく。	 「手打ちうどんに挑戦！」
保育課	食育ナビにて保育施設における給食献立の発信	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:食育ナビの閲覧者 実施回数:4事例	場所:食育ナビ上へ掲載 内容:市内の保育施設で提供している給食献立レシピの紹介	食育ナビで発信することにより、保護者を始めとして、保育施設の人気メニューなどを発信することができた。	今後も継続して発信していく。	 あさりひじきごはん

さいたま市の食育取組状況 2019年4月～2020年3月(令和元年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan							Do		Check		取組の様子など												
		三食 しっかり	目録 いっしょ に楽しむ	5つの「食べる」 確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2019年4月～2020年3月 (令和元年度)	成果	課題														
保育課	食物アレルギー研修会 及び講演会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	○研修会 対象:保育施設職員 実施回数:7回 ○講演会 対象:市内内外問わず誰でも参加可能 参加者数:454名	○食物アレルギー研修会 場所:アナフィラキシー児やエビペン預かり児が在園している保育施設 内容:アレルギー対応についての講話、エビペンの実技講習 ○食物アレルギー講演会 実施日:2019年10月26日(土) 場所:市民会館おみや 対象:食べて治す!子どもの食物アレルギー!講演 (講師:さいたま市民医療センター 小児科 診療部長 西本 創氏)	研修会では、講話と実技講習の両方を行うことで、基本的な知識の習得と緊急時の実践力の向上を図ることができた。 また、研修会および講演会を毎年開催することで、最新のアレルギー情報を共有できている。	講演会参加人数に余裕があるため、より集客率を上げるよう周知方法の検討が必要。		エビペンの実技講習の様子
環境創造政策課	さいたま市環境フォーラム	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	○展示参加団体: 24団体 ○スタンプラリー参加者: 359人 ○その他見学者: 約4,500人	実施日:2019年10月11日(金) 場所:さいたま新都心駅東自由通路、コクーンシティコクーン1 コクーンプラザ 内容:市民、事業者、学校、行政などがそれぞれの立場で行っている環境保全活動についての発表を通じ、お互いの情報交換と交流の場、また、多くの方々に環境に関心を持っていただくための環境教育・学習の場を創出することを目的としたイベントである。環境への配慮と併せて、食品ロスの削減など食育についても啓発した。	来場者アンケートでは、食品ロスについての感想、食育に対する意見を多数いただくことができ、食育の推進について啓発することができた。	より多くの方々に、環境に関心をもってもらえるよう事業内容や広報方法を検討していく。		
環境創造政策課	エコライフDAY	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	夏 15,145人 冬 9,965人	夏と冬の年2回、ある1日を省エネ・省資源など環境に配慮して過ごし、その成果を二酸化炭素の排出削減量で把握する取組で、環境配慮のきっかけ作りを目的としている。取組項目には、「食べ残しをしない!」「野菜は旬なものを選ぶ」といった、食育推進に関連する内容が含まれており、市立小中学校の児童・生徒・市職員やその家族などに取組んでもらった。	環境に配慮していただく中で、食育の推進についても取組んでもらうことができた。	参加者を増やすため、一人ひとりの行動が地球温暖化防止につながるという本取組の趣旨を周知し、参加を促していく。		
資源循環政策課	九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会3R普及促進事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	○対象:九都県市域内住民	実施日:2019年4月～ 場所:九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、川崎市、横浜市、千葉市、さいたま市、相模原市)域内 内容:令和元年10月までに食品ロスをテーマとした動画を制作し、対象地域内のデジタルサイネージで放映したほか、九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会のホームページ等で公開した。また平成30年度に引き続き食品ロスを題材としたマンガ小冊子をイベント等で配布した。	動画は子どもにも親しみやすいクレーアニメを主体に作られており、家族で食品ロス削減に取り組んでもらう良い契機となった。	いっそう多くの市民に参加してもらえよう、PRの方法をさらに工夫していく必要がある。		食べられるのに捨てちゃうの? 食品ロスを考えよう
資源循環政策課	Saitama Sunday Soup (あまった食材、スープにしちゃおう!日曜日は食べつくスープ!)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	—	実施日:2019年4月～ 内容:食品ロス削減を呼びかけるため、パンフレット・動画を作成。食品ロス削減につながる「買い方」と「冷蔵庫整理術」を紹介したほか、あまった食材は日曜日にスープにして食べつくそう、ということと、レシピとともに提案している。Instagramなどにもレシピを掲載中。 また、令和元年10月には大学コンソーシアムさいたまなどと協働し、学生13人の参加のもと料理教室を開催した。	パンフレットはイベント等で配布するほか各区の情報公開コーナーにも配置しており、おのおおむね好評を得ている。 また動画は投稿サイトで10万回以上再生されており、食品ロス削減の啓発に貢献している。	Instagramでは市民等から投稿のあったレシピも掲載している。さらなる投稿増加のためにも、いっそうのPRが必要である。		日曜日は食べつくスープ!
農業政策課	児童体験農業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	○対象:市内小中学校の小学5年生 深和小学校 213人 指扇小学校 147人	実施日:5月8日(田植え)、9月4日(稲刈り) 場所:西区宝来の生産者ほ場 内容:小学生を対象に田植え・稲刈り体験事業を実施した。	生産から収穫、消費まで一貫した体験ができ、小学生にとって貴重な機会となっている。農業後継者対策推進協議会事業として実施している。	参加学校数が伸び悩んでいる。		
農業政策課	エコ農業直接支援事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	—	実施日:— 場所:西区及び岩槻区 内容:生産者の減農薬・減肥料栽培を支援し、カーブクロープを用いた栽培や農薬・化学肥料の使用を慣行の5割以下に減らした栽培など、環境保全型農業を中心とした米づくりを推進した。	減農薬・減肥料で環境負荷の小さい米作りを推進できた。	レンゲなど種苗、資材が高騰し、実施者から事業継続を危ぶむ声がある。	